個人投資家向け
会社説明会資料

1. 会社概要

2. 決算の概要・見通し

イフジ産業株式会社（証券コード 2924）

JPX
東証一部上場

1. 会社概要

会社概要

イフジ産業株式会社（証券コード 2924）

JPX 東証一部上場

■会社名	イフジ産業株式会社
■事業内容	・鶏卵関連事業（液卵・冷凍卵の製造・販売） ・調味料関連事業（業務用粉末・顆粒調味料の製造・販売） ・太陽光発電事業
■設立	1972年（昭和47年）10月
■本社所在地	福岡県糟屋郡粕屋町戸原東二丁目１番29号
■従業員数	478名（イフジ産業419名、日本化工食品59名） ※臨時従業員含む：2018年3月末現在
■代表取締役社長	藤井 宗徳
■資本金	455百万円
■連結売上高	14,396百万円（ｲﾌｼﾞ単体：13,268百万円）（2018年3月期）
■連結経常利益	710百万円（イフジ単体：691百万円）（2018年3月期）
■時価総額	6,501百万円（2018年3月末時点）
■発行済株式数	8,345,370株（2018年3月末時点）
■単元株式数	100株
■上場取引所	東京証券取引所　市場第一部　　福岡証券取引所　本則市場
■証券コード	2924
■グループ会社	日本化工食品株式会社　　一房総味株式会社

会社の沿革

1972年10月	福岡市中央区桜坂にイフジ産業株式会社を設立。
1973年09月	福岡県糟屋郡粕屋町（現本店所在地）に本社工場完成、液卵の製造販売を開始。
1974年08月	千葉県市川市に関東営業所設置。
1981年12月	茨城県水戸市に日配水戸販売株式会社と合弁で株式会社関東イフジを設立。
1982年05月	株式会社関東イフジ水戸工場が完成。関東地区で生液卵の製造販売を開始。関東営業所を水戸市に移転。
1983年04月	福岡県嘉穂郡穂波町の有限会社日の丸食品を買収、株式会社に組織変更。
1987年10月	日の丸食品株式会社の社名を株式会社イフジフーズに変更。
1988年03月	首都圏での販売量の拡大に伴い、株式会社関東イフジ水戸工場を増設。
1988年04月	株式会社イフジフーズにて、ゆで卵の製造販売を開始。
1989年05月	奈良市に㈱関西イフジを設立、近畿圏で液卵の製造販売を開始。大阪営業所を移転し関西営業所と改称。
1990年03月	三重県上野市の有限会社カネヒロ食品を買収、株式会社に組織変更。
1996年04月	製販一体化のため、㈱関東イフジ、㈱関西イフジ、㈱カネヒロ食品、㈱イフジフーズを合併する。
1996年07月	本店所在地を福岡市中央区桜坂から福岡県糟屋郡粕屋町（現本社住所）に移転。
1996年10月	愛知県安城市に名古屋事業部を設置、中京圏での生液卵の製造販売を開始。
1998年08月	三重事業部を閉鎖。
2001年05月	関東事業部の新工場が完成。
2001年08月	日本証券業協会に店頭登録（現在の東京証券取引所JASDAQ）。
2004年03月	京都府綴喜郡井手町に関西事業部新工場が完成し、関西事業部を移転。奈良工場は閉鎖。
2009年11月	東京都千代田区の日本化工食品株式会社の全株式を取得し、グループ化。
2011年08月	福岡証券取引所（本則市場）に上場。
2012年05月	東京証券取引所（市場第二部）に上場。
2013年02月	太陽光発電事業の開始。
2015年10月	一房総味株式会社設立。
2017年03月	東京証券取引所市場第一部銘柄指定。
2018年05月	関東事業部にて国際認証の食品安全マネジメントシステム「ＦＳＳＣ２２０００」の認証を取得。

事業内容

イフジ産業株式会社（証券コード 2924）

JPX 東証一部上場

【鶏卵関連事業】

原料調達

※画像はイメージ

イフジ産業（株）

割卵・殺菌・充填

液卵・冷凍卵

ボイル・脱殻・殺菌

ゆで卵

食品の原料へ

※画像はイメージ

【調味料関連事業】

原料調達

※画像はイメージ

日本化工食品（株）

造粒加工

粉末加工

焙煎加工

ブレンド

業務用粉体調味料・顆粒調味料

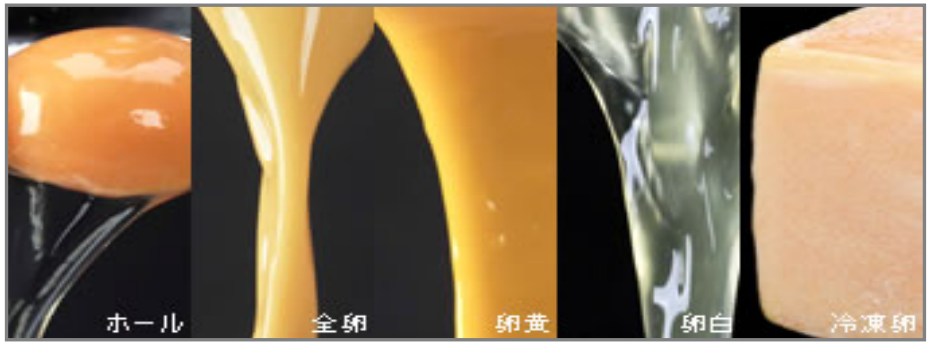
※2009年　日本化工食品（株）の全株式を取得（M＆A）を行い、調味料業界へ進出。

食品の原料へ

※画像はイメージ

液卵・冷凍卵とは・・・？

鶏卵から卵殻を除いたものであり、形状が液体であることから液卵と称される。
（液卵を凍結したものが冷凍卵）



液卵使用のメリット

作業効率
割卵の手間が省け効率的・衛生的。

経済性
鶏卵相場変動による原料費の不安定さの抑制。

作業環境
殻付卵に比べ保管スペース3分の1。卵殻からの二次汚染防止。

貯蔵性
凍結状態であれば1～2年の保管が可能。

品質の安定性
バラツキが少なく製品の均質化が可能。

イフジ産業　液卵・冷凍卵の種類・用途

品　種	種　別	主　な　用　途
全　卵	ホール	ケーキ、洋菓子、和菓子
	全卵	パン、ビスケット、玉子焼、玉子とうふ
	加糖全卵	ケーキ、洋菓子
	調整全卵	パン、ビスケット、クッキー
卵　黄	卵黄	洋菓子、和菓子
	加糖卵黄	洋菓子、和菓子
	加塩卵黄	マヨネーズ
卵　白	卵白	練製品、洋菓子、和菓子
	製菓用卵白	洋菓子、和菓子

日本化工食品　業務用調味料の種類・用途

品　種	種　別	主　な　用　途
粉末調味料	畜肉系粉末製品	粉末スープ
	海鮮系粉末製品	生地練り込み、粉末スープ
	その他調味料製品	スナックシーズニング
顆粒調味料	和風タイプ	各種テーマに幅広く使用可能
	中華タイプ	各種テーマに幅広く使用可能
	油脂タイプ	粉末スープ
	その他製品	生地練り込み、トッピング
焙煎調味料	畜肉系粉末製品	粉末スープ
	海鮮系粉末製品	生地練り込み、粉末スープ
	その他調味料製品	粉末スープ等

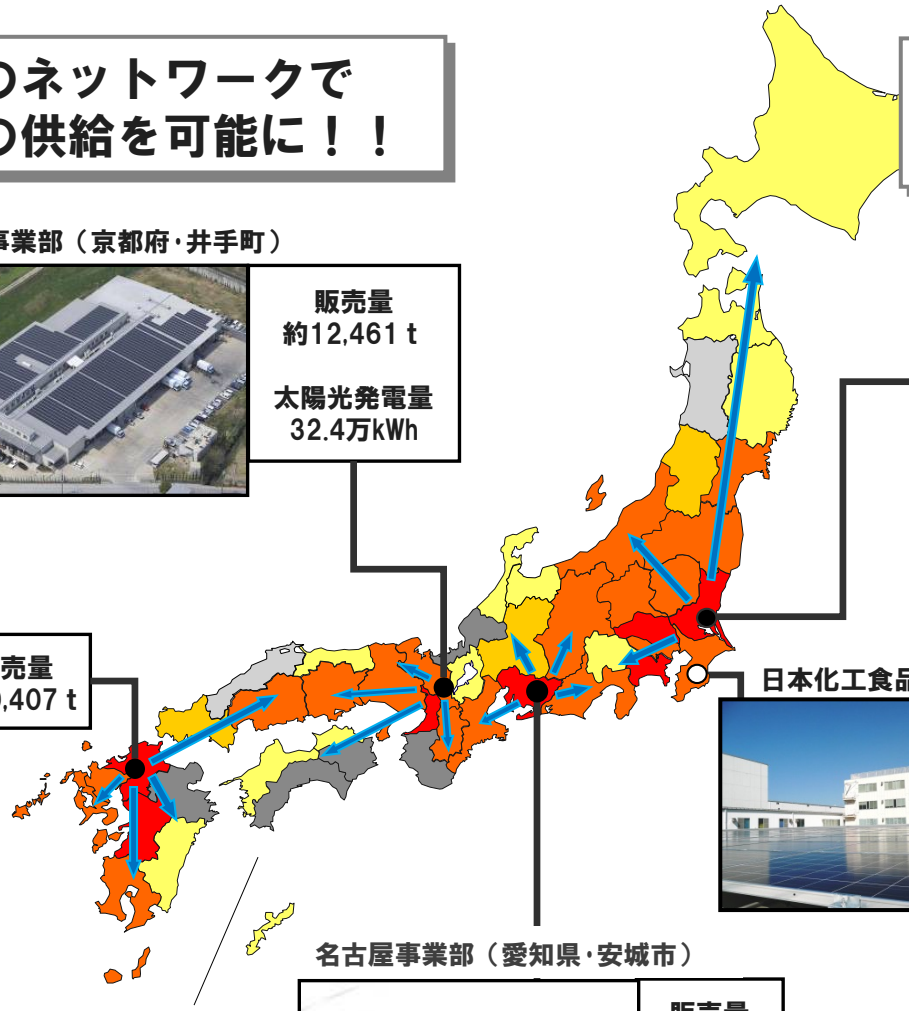
事業部ネットワーク

イフジ産業株式会社（証券コード 2924）

JPX 東証一部上場

全国４工場のネットワークで
全国へ液卵の供給を可能に！！

大消費地に隣接したお客様重視の
工場立地は市場開拓の大きな
アドバンテージ。



関西事業部（京都府・井手町）

販売量
約12,461 t

太陽光発電量
32.4万kWh

関東事業部（茨城県・水戸市）

販売量
約21,697 t

太陽光発電量
27.8万kWh

福岡事業部（福岡県・粕屋町）

販売量
約10,407 t

日本化工食品 千葉工場（千葉県・市原市）

太陽光発電量
2.8万kWh

名古屋事業部（愛知県・安城市）

販売量
約6,973 t

2018年3月期都道府県別販売実績
（商社等経由での供給先も含む）

2018年3月期	
500百万円以上	
100百万円以上	
50百万円以上	
10百万円以上	
3百万円以上	
0百万円以上	
0	

※販売量（イフジ産業単体）・発電量は
2018年3月期実績による

液卵業界推定シェア

イフジ産業株式会社（証券コード 2924）

JPX 東証一部上場

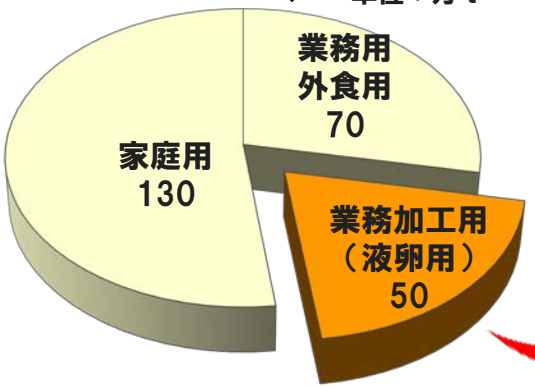
国内
鶏卵生産量
約250万t

自給率約96%

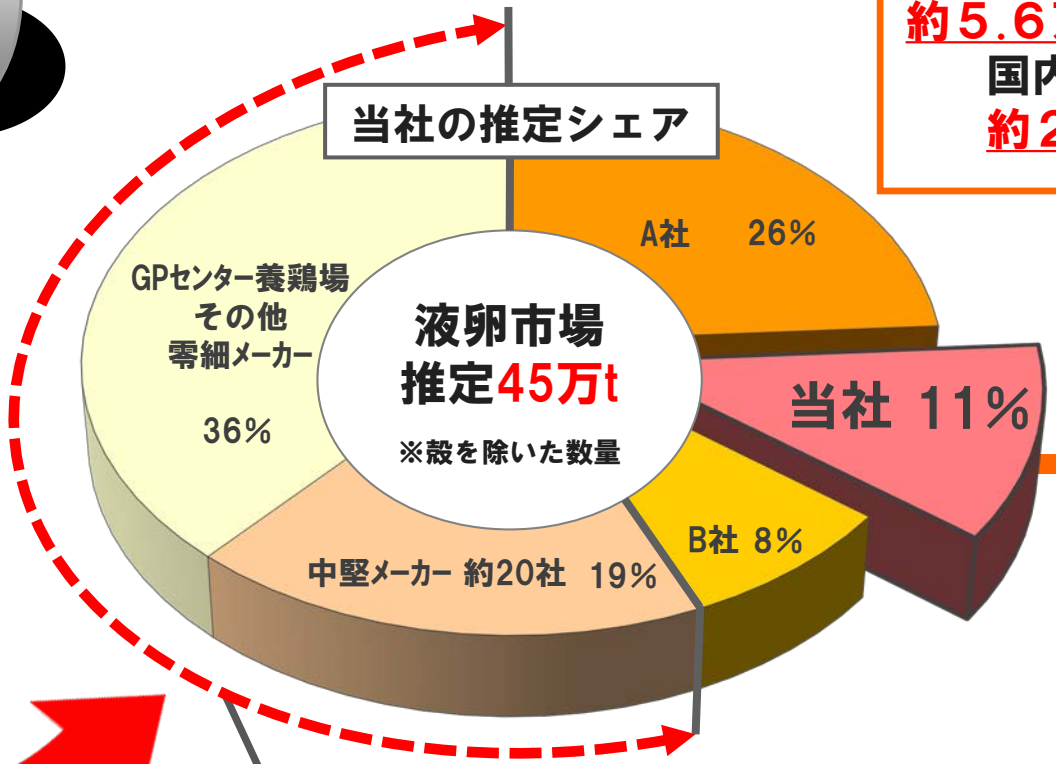
輸入卵
輸入粉末卵
約12万 t

※殻付き換算

単位：万 t



当社の推定シェア



当 社
鶏卵使用量
約５.６万 t（10億個）
国内生産量の
約２％を使用

液卵マーケットの拡大

- 単身世帯の増加
- 高齢化社会の進展
- 女性の社会進出
- 人手不足

コンビニ、中食需要の拡大、
小規模事業者での液卵使用の増加

業界の再編・淘汰

中小零細の淘汰・大型生産者への集約
養鶏業者：3,600戸（2002年）→2,200戸（2018年）
※養鶏業者数は農林水産省の畜産統計「採卵鶏飼養戸数」より

※推定シェアは2007年度実績に基づいて算出
液卵市場規模及びシェアは（社）日本卵業協会製作の「鶏卵及び鶏卵加工品流通実態調査報告書」を元に当社が推定したもの

今後の事業展開

営業：マーケットの拡大

・市場（業界）の特性にあわせた販売強化
・顧客ニーズに沿った商品の提案
・研究開発との連携による提案の強化

製造：安全・安心な製品を安定供給

・６Ｓ活動の徹底
（６Ｓ：整理・整頓・清掃・清潔・しつけ・節約）
・自動化・省力化
・食品安全マネジメントシステムの導入
・環境への配慮
・卵殻のリサイクル（Green Techno 21との取組み）

太陽光発電事業

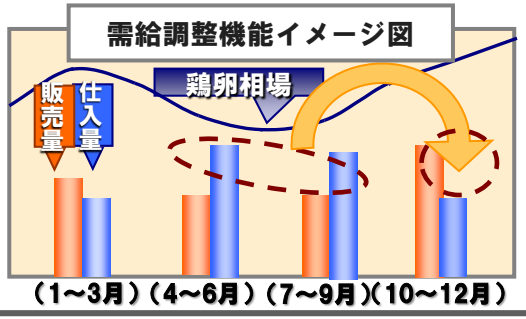
工場の屋根に太陽光パネル設置
・イフジ産業（2018年3月期実績）
　関西工場 32.4万kWh
　関東工場 27.8万kWh
・日本化工食品（2018年3月期実績）
　千葉工場　2.8万kWh

国内においても
持続的に成長可能

購買：仕入システムの多様化

・格外卵の調達
・需給調整機能の発揮
＋
・委託生産の拡大
・輸入卵、輸入粉末卵の取扱い

必要数量の安定調達
仕入システムの多様化による鳥インフルエンザのリスクを回避



管理：１人当たりの生産性向上

・人材育成
・コミュニケーション強化
・モチベーション向上

M&A

・同業界のM&Aや業務提携
・調味料関連

関東事業部にてＦＳＳＣ22000の認証の取得

FSSC 22000

Certificate of registration

The Food Safety Management System of

Ifuji Sangyo Corporation
Kanto Branch
at
4476-17 Sakado-cho, Mito-shi, Ibaraki, 310-0841, Japan

has been assessed and determined to comply with the requirements of

Food Safety System Certification (FSSC) 22000
(Version 4.1)

Certification scheme for food safety management systems consisting of the following elements: ISO 22000:2005, ISO/TS 22002-1:2009 and Additional FSSC 22000 requirements (version 4.1).

This certificate is applicable for the scope of:

Manufacturing of liquefied egg, frozen egg, and half-finished prepared food (half-finished CHAWAN-MUSHI)

Food Chain (Sub)Category: CI

Certificate of registration number: FSSC 675302

Certification decision date: 2018-05-21

Initial certification date: 2018-05-21
Issue date: 2018-05-21
Valid until: 2021-05-20

Authorised by:

Marc Barnes
Global Director - Food

ANAB

Accredited Certification Body: BSI Assurance UK Limited, 389 Chiswick High Road, London W4 4AL, United Kingdom

Issued by: BSI Group ANZ Pty Ltd ACN 078 659 211, Suite 2, Level 7, 15 Talavera Road, Macquarie Park NSW 2113 Australia

Validity of this certificate can be verified in the FSSC 22000 database of certified organisations available on www.fssc22000.com

当社の主力工場である関東工場にて食品安全マネジメントシステムの国際規格であるFSSC22000の認証を取得いたしました。

お客様の食品安全に対する関心はますます高くなっております。
これまで以上に食品安全に関する管理のレベルアップを行い、安心･安全な製品をご提供できるように努めてまいります。

※ FSSC22000とは、国際食品安全イニシアチブ（GFSI）が承認した国際食品安全認証スキームで、食品安全マネジメントシステム　の国際規格であるISO22000に、それを発展させたISO/TS22002-1の食品衛生管理基準を追加した規格です。

働き方改革のグロース企業に認定されました

各事業部に設置している託児所の様子

株式会社三井住友銀行が取り扱う「SMBC働き方改革融資」において、今後の働き方改革が期待できる「**働き方改革のグロース企業**」に認定されました。

部署を跨いだコミュニケーションの促進、人事考課の透明性の担保、永年勤続表彰や託児所の利用等ほぼすべての福利厚生施策を正社員・非正規従業員で共通化する等の取り組みが評価されました。

今後のさらなる働き方改革に向けて、多様な働き方を提供し、自動化・省力化を行うことで、労働生産性の向上を実現してまいります。

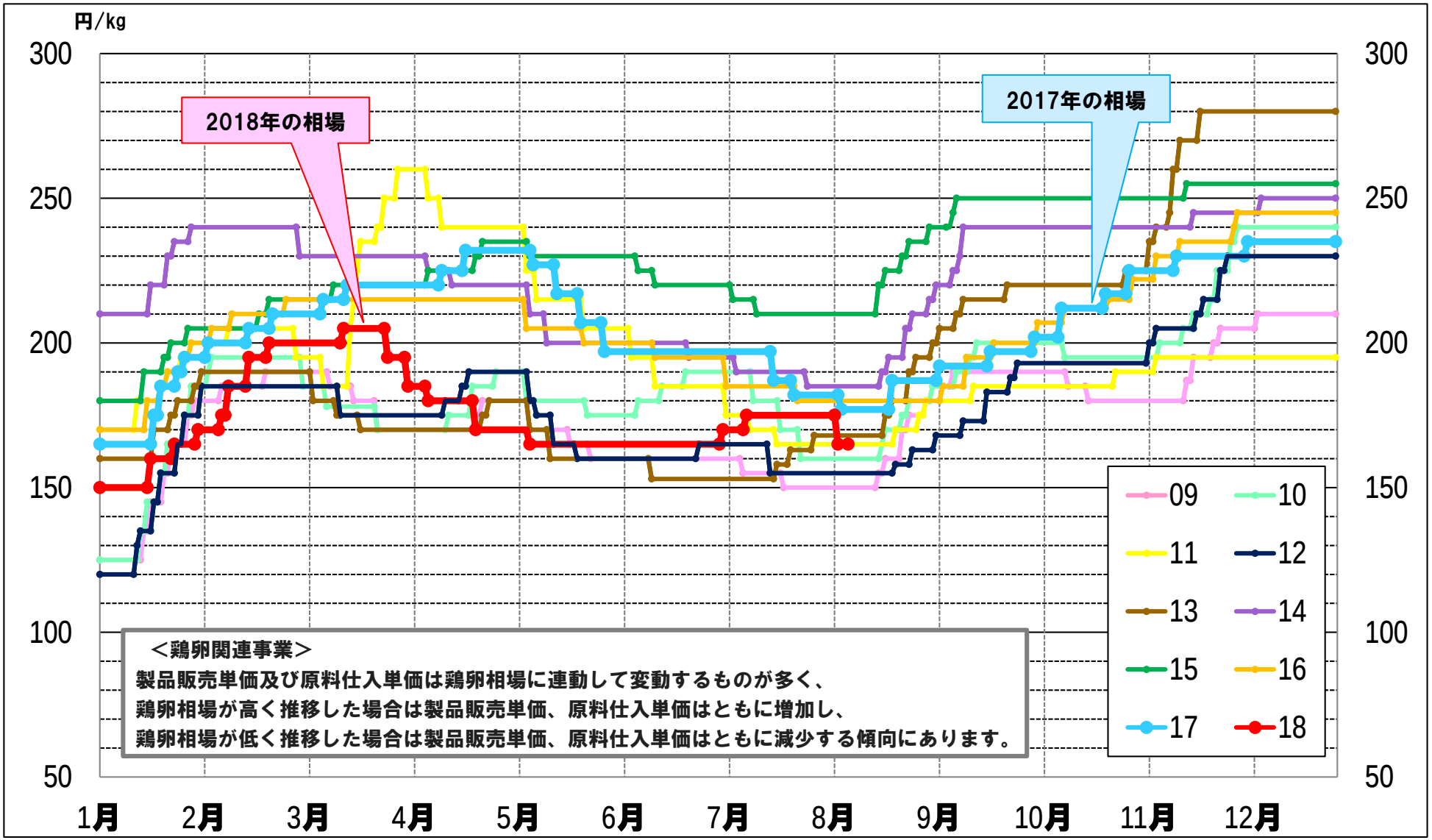
2. 決算の概要・見通し

鶏卵相場

イフジ産業株式会社（証券コード 2924）

JPX 東証一部上場

■鶏卵相場の推移（東京M基準値）



＜鶏卵関連事業＞
製品販売単価及び原料仕入単価は鶏卵相場に連動して変動するものが多く、
鶏卵相場が高く推移した場合は製品販売単価、原料仕入単価はともに増加し、
鶏卵相場が低く推移した場合は製品販売単価、原料仕入単価はともに減少する傾向にあります。

2019年3月期第1四半期決算の概要

イフジ産業株式会社（証券コード 2924）

JPX 東証一部上場

■要約連結損益計算書

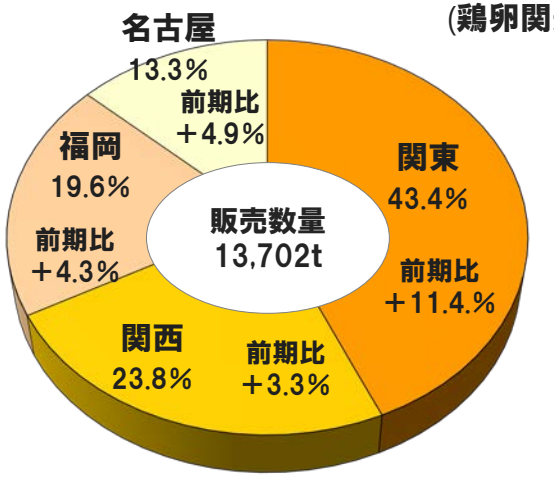
（単位：百万円）

	2018年3月期 第1四半期（連結）	2019年3月期 第1四半期（連結）	対前年同期 増減比
販売数量（t）（鶏卵関連事業）	12,793	13,702	+7.1%
売上高	3,596	3,296	▲8.3%
売上原価	3,035	2,647	▲12.8%
売上総利益	561	649	+15.6%
販売・管理費	411	462	+12.2%
営業利益	149	186	+24.8%
経常利益	154	192	+24.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	121	133	+9.7%
1株当たり利益（円）	14.58	15.99	+9.7%

- **販売数量は前年同期比7.1％増。**（鶏卵関連事業）
- **鶏卵相場は前年同期比20.5％低下。**
- **営業利益・経常利益・四半期純利益はいずれも前年同期を上回った。**

事業部別販売数量構成比

(鶏卵関連事業)



全ての事業部において販売数量が増加

2019年3月期通期業績の見通し

イフジ産業株式会社（証券コード 2924）

JPX 東証一部上場

■2018年3月期連結業績見通し

（単位：百万円未満切捨て）

	2018年3月期（連結）	2019年3月期（連結）（予）	増減比
売上高	14,396	14,227	△1.2%
営業利益	693	730	+5.4%
経常利益	710	737	+3.9%
特別利益	122	－	－
親会社株主に帰属する当期純利益	555	492	△11.3%
1株当たり利益	66.67	59.14	△11.3%

鶏卵関連事業において、
販売数量は2.5％増で過去最高を目指す。
鶏卵相場は2018年3月期よりも低く推移すると予想し、売上高は微減を予想。

5期連続の経常増益を見込む。

■売上高

＜鶏卵関連事業＞
- 販売数量2.5％増を目指す
- 適正価格での販売を重視
- 市場（業界）の特性にあわせた販売強化

＜調味料関連事業＞
- 新規顧客への営業強化
- 顧客ニーズに沿った商品の提案
- 加工技術を活用した委託生産の受託
- グループ内での委託加工による販売強化（シナジー）

■損益

＜鶏卵関連事業＞
- 顧客ニーズに沿った付加価値のある製品の販売による粗利の確保
- 定期格外卵の調達・需給調整・委託生産による原料調達の安定化

＜調味料関連事業＞
- 生産効率向上によるコスト削減推進

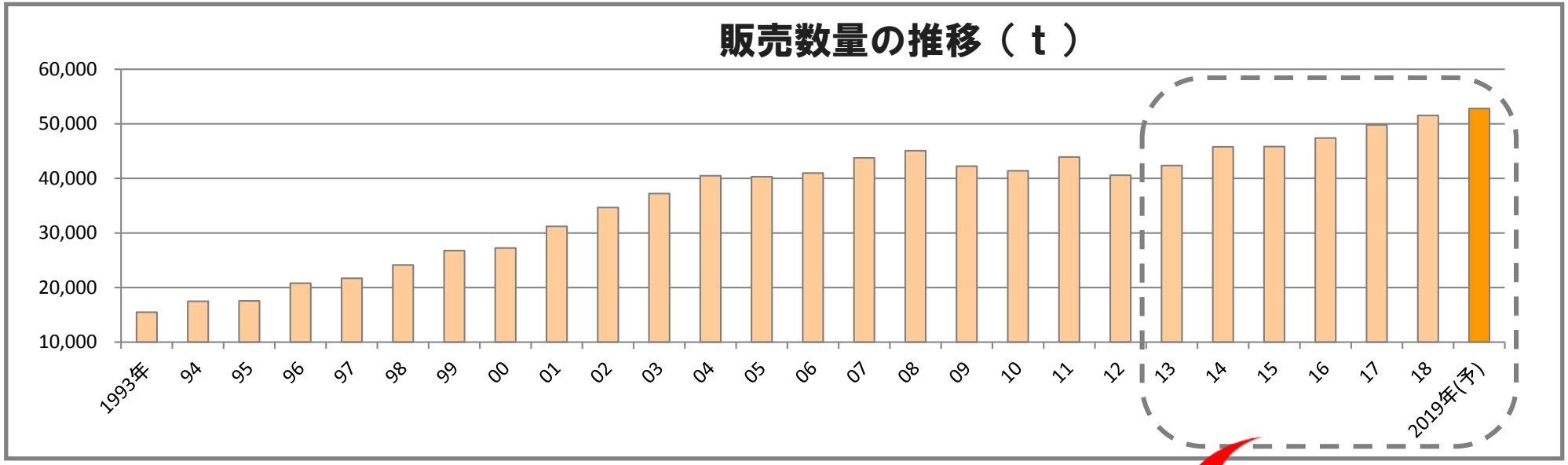
＜太陽光発電事業＞
- 安定した利益の確保

販売数量の推移（鶏卵関連事業）

イフジ産業株式会社（証券コード 2924）

JPX 東証一部上場

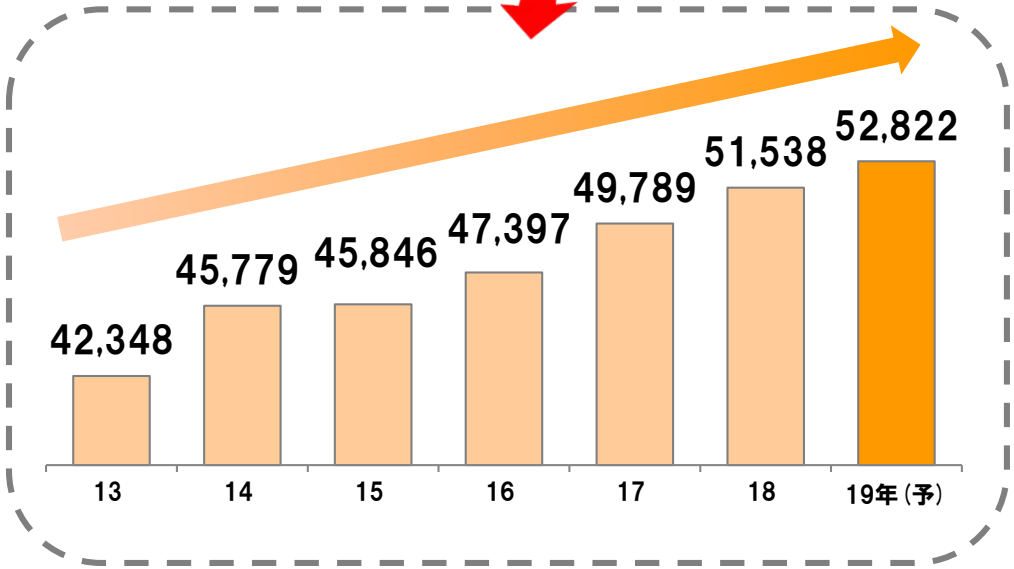
販売数量は再成長のステージへ



従来の製菓・製パンメーカー向けへの販売に加え、冷凍食品・マヨネーズメーカー向けへの販売が増加。

販売数量は5期連続で**過去最高**を更新し、2018年3月期は初めて5万ｔを超えた。

2019年3月期も**過去最高**の**販売数量**を**更新**する見込み。



最近の業績の推移（連結）

イフジ産業株式会社（証券コード 2924）

JPX 東証一部上場

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年3月期
販売数量（t）鶏卵関連事業	40,575	42,348	45,779	45,846	47,397	49,789	51,538	52,822
売上高（百万円）	10,807	10,657	12,650	13,130	14,478	14,248	14,396	14,227
営業利益（百万円）	809	786	337	517	642	663	693	730
経常利益（百万円）	817	825	365	531	665	681	710	737
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	433	532	※1 235	※2 388	434	533	555	492
1株当たり利益（円）	※ 52.02	※ 63.93	28.30	46.58	52.21	64.04	66.67	59.14
ROE（自己資本当期純利益率）	13.6%	15.0%	6.3%	9.8%	10.2%	11.5%	10.9%	－
1株当たり配当金（円）	※ 14.6	※ 16.6	16	11	15	（記念配当1円を含む）17	16	17
配当性向	※ 28.2%	※ 26.1%	56.5%	23.6%	28.7%	26.5%	24.0%	28.7%
時価総額（百万円）	2,709	4,311	4,297	4,514	4,473	7,435	6,501	－
配当利回り	4.5%	3.2%	3.2%	2.0%	3.0%	1.9%	2.1%	－

※ 2013年7月末を基準日として1:1.5株の株式分割を実施。1株当たり利益は株式分割（1:1.5）遡及後、配当性向は分割前の数値で記載。
1株当たり配当金は株式分割を考慮した数値記載。

- 2014年3月期 ※1　鶏卵相場の急騰による割高な当用買いで材料費が増加。販売価格の改定を実施も追いつかず減益。
- 2015年3月期以降 ※2　前年度下期から販売価格の改定や原料調達の安定化に努め、収益の安定化を図る取り組みを開始。
- 2018年3月期　販売数量は初めて5万tを突破。
  親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を達成。
- 2019年3月期（予想）　2019年3月期は2018年3月期の販売数量を超え、6期連続で過去最高となる見込み。
  鶏卵相場が2018年3月期より低く推移すると予想し、売上高は微減すると予想。

■配当について

＜配当方針＞

経営体質の強化･今後の事業展開を勘案し、**連結ベースで配当性向25％～30％が目標。**

＜2019年３月期の配当計画＞

１円増配となる１株当たり **17円**（中間８円、期末9円）の配当を計画。

※2018年3月期は１株当たり16円（中間8円、期末8円）の配当を実施。

■株主優待について

全国たまご商業協同組合発行の「たまごギフト券」を、毎年9月30日、3月31日現在の株主様に対して以下の基準で贈呈。

	9月末日	3月末日
100株以上～1,000株未満の株主様	300円分（100円×3枚）	300円分（100円×3枚）
1,000株以上の株主様	1,200円分（100円×12枚）	1,200円分（100円×12枚）

http://www.tamagoken.or.jp/

たまごギフト券については全国たまご商業協同組合のホームページに詳しい説明があります。

株価の推移

イフジ産業株式会社（証券コード 2924）

JPX 東証一部上場

＜参考＞イフジ産業株式会社　株価推移（市場第一部指定後）

一房総味株式会社（ひとふさそうみ） イフジ産業グループ会社

こだわり

①希少性の高い千葉県産の『房州節』

全国の節類（本節）の中でわずか0.2％の千葉県産の房州節をふんだんに使用しています。その中でも、5月の八丈島からの三宅島近辺でとれる冷凍しない生のままの鮮度の良い鰹や鯖を使用していますので薫りが断然に違います。

②幻の製法『手火山式』

350年前より伝わる、幻と言われる完全手作業の製法「手火山式」。

熟練した職人が一尾ずつ強い火力でじっくり燻し乾かし、手間暇かけ手入れしていますので、旨みが凝縮しています。

・プレミアムと呼ぶにふさわしい、房州節の柔らかな香りと奥深いうまみが凝縮された逸品です。

一房総味　プレミアム和風だし

・だしパック8ｇ×30袋
・参考価格　3,564円（税込・送料別）

通販サイト

http://hitofusasomi.com/　ひとふさそうみ　検索

業績予想に関する事項

この資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それはいずれも、資料作成時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものであります。その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、万が一、この資料を利用した結果被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いませんのでご承知おきください。

ご清聴ありがとうございました。